

2017年3月～4月のJ-stageアクセスランキング上位20位の論文情報

(対象論文：44巻1号～51巻6号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料が対象)
 (同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。巡回ロボットによるアクセスは除外しています。)

順位	アクセス数	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	119	ノート	屋久島および霧島における無機イオン成分の針葉への乾性沈着	三宅 隆之	48	92
2	71	技術調査報告	自動車搭載型装置を用いたMAX-DOAS法による分光観測—福岡都市圏の二酸化窒素 (NO2) の時空間不均質性—	山口 秀芳	51	238
3	42	技術調査報告	PM2.5の酸分解/誘導結合プラズマ質量分析法によるケイ素を含む30元素一斉分析	辻本 浩子	50	192
4	41	原著論文	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保 直樹	45	227
5	39	総説	燃焼発生源における新たな課題	藤谷 雄二	52	1
5	39	原著論文	優先取組物質の見直しに対応した大気中クロム分析法の開発	奥田 知明	48	268
7	37	総説	PM2.5の実態解明に向けて	伏見 暁洋	46	84
8	36	技術調査報告	野外焼却の実態とPM2.5濃度への影響に関する考察	長谷川 就一	52	40
8	36	原著論文	日本で捕集した典型的な黄砂エアロゾルの化学組成	西川 雅高	51	218
10	34	原著論文	大気汚染予測システム (VENUS) の構築と検証	菅田 誠治	46	49
11	33	総説	大気中微小粒子状物質の長期曝露が死亡に及ぼす影響—疫学研究における曝露と健康影響の評価に関する系統的レビューとメタ解析—	上田 佳代	51	245
11	33	原著論文	誘導体化-加熱脱着 GC/MS 法によるPM2.5中の極性及び非極性有機成分の簡易迅速分析	上野 広行	47	241
13	31	技術調査報告	低オレフィンガソリン燃料を用いた給油時と終日車両保管時に排出される揮発性有機化合物とオゾン生成能を考慮した大気質評価	萩野 浩之	50	266
14	30	ノート	二次粒子生成・成長に与えるPM0.1中炭素成分および金属成分の寄与調査	桑原 博俊	52	30
14	30	総説	PM2.5に関する海外動向と測定・モニタリング・成分分析に関する今後の課題	若松 伸司	46	77
16	28	原著論文	地熱発電所から排出される硫化水素の大気拡散予測のための数値モデル開発	小野 浩己	52	19
16	28	原著論文	2010年度を対象としたトレーサー法によるわが国の微小粒子状物質 (PM2.5) の発生源寄与評価	板橋 秀一	51	197
18	24	技術調査報告	ハイボリュームエアサンプラー用PM2.5インパクター (HVI2.5) の改良と特性評価	兼保 直樹	51	174
19	23	原著論文	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成 陽容	48	20
20	22	原著論文	PM2.5中の水溶性成分がマスト細胞株の脱顆粒に及ぼす影響	片岡 裕美	52	12
20	22	技術調査報告	大気汚染物質排出インベントリ—EAGrid2000-Japanの年次更新	福井 哲央	49	117